

酒々井町

郷土研究会会報

第107号

平成15年1月1日
酒々井町郷土研究会
広報部

年頭に寄せて



明けましておめでとございます。皆様方ご健勝にて清々しい新年をお迎えになられたことと存じます。

会長 青木朝次

つい先日新世紀の第一歩を踏み出したばかりのようですが、歳月人を待たずとか早いものでもう二千三年の春となりました。折から世情は打ち続く不況の中、イラク問題、拉致問題そして連続テロ等々、気の滅入る話題ばかりの中に日本人二人のノベル賞受賞は滅入る気持ちをしぐさいあげてくれました。ストックホルムに着かれた田中耕一さんの笑顔には思わず顔がほころび、今年こそは不況の中に明かりが欲しいと願うばかりです。昨年には会員皆様のご協力を得て、会報発行百号記念誌として第一集よ

り第四集までを発行。この事業が達成出来ましたことに人の和の大切さを痛感し感激の極みと存じます。今年度は役員改選の年に当たります。皆様方のご協力と御理解を賜り、益々の充実をはかり会の発展向上に努めたいと思っております。

迎春

平成十五年元旦

酒々井の「まつり」



大宮政雄

「祇園まつり」

祇園まつりの御輿の渡御も種々の事情でできなくなり取りやめてもう半世紀にもなります。現在は三日間社殿に飾って氏子三地区の世話人が

神社で当番をしておりますが昔を思い出してまつりの事を書いてみました。八月十五日にお盆が終わると十六日から酒々井の祇園まつりです。上宿に鎮座します八坂神社の御まつりで、十六日から十八日までの三日間毎年御輿を出して行われました。八坂神社は、上宿、中宿、新宿の氏神で例年区内の老若を問わず大勢の人々が御輿を担いでにぎわったものです。

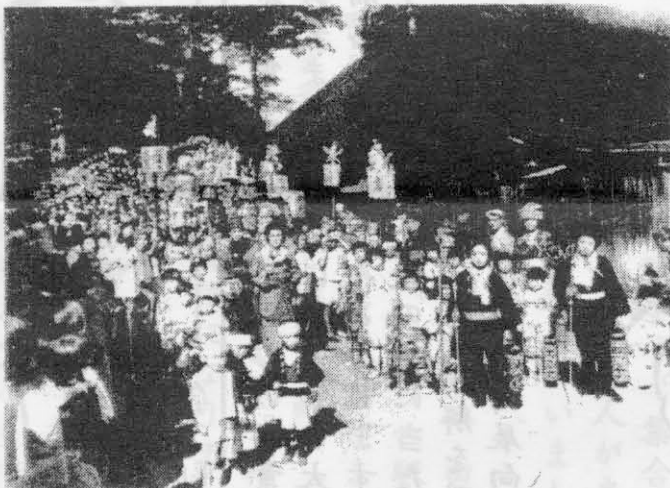
十六日は朝早くから「幟立て」をします。幟柱は下台の東光寺の本堂縁の下に保管されており十メートルもの長さの柱です。朝日神社・麻賀運びだし八坂神社・朝日神社・麻賀多神社の前に立てます。また不動様前道路には、三日間御輿を鎮座するための「お飯屋」も造られます。また各家庭では軒下などに「御神燈」と書かれた提灯を飾ります。各地区の世話人や若者達は神社に集まり御輿の飾り付けをします。飾り御輿は紅白の綱と屋根上には稲穂を食わえた風風を飾り、四面には長提灯を飾ります。また揉み御輿の綱は白です。夕方ともなると太鼓の合図で担ぎ手が集まってきました。担ぎ手は皆白パンツに白足袋で上半身は裸です。

先ず神主の祝詞のあと、御神酒を飲み交わし飾り御輿が担ぎ出されます。四面の提灯には火が灯り静かに担がれて各地区の幟を一巡してお飯屋に納まります。担ぎ手は神社に向かい「御霊」が御輿内に安置され、担ぎ出されます。揉御輿は「暴れ御輿」です。反転また反対側に反転と屋根を奪い合いながら担ぎ回ります。

また夜ともなると露店が出て、中宿の旧郵便局の周辺から御飯屋への道路にいっぱい並び参拝客を楽しませてくれました。また御輿も夜七時から八時ごろの参拝客の多い時間帯は、その辺りを中心に行き来して担ぎ、参拝客を楽しませてくれました。御輿は区内各地を巡り、途中接待の申し出のあった家の前にては御輿を休め、家主よりお酒、西瓜などの接待を受けご馳走になりまた担ぎ出しました。この接待も最後の頃は家主からの接待は取りやめ、地区毎に接待場所を設けて接待するようになりました。御輿は夜は御飯屋に納めま

す。十七日は夜宮で、露店をながめながらの参拝です。十八日は御飯屋より「揉御輿」か

ら始まります。御輿は深夜まで担がれなかなか神社に納める事ができず世話人の骨の折れる時です。「揉御輿」が納まると今度は、「飾り御輿」の渡御です。御輿が各地区の幟を回り、停車場（昔は酒々井区の一部）へ着く頃は朝日も上り、一番列車の到着する頃になるのも度々でした。御輿も無事神社に納まり幟も倒して片付けられると、後は各地区で「花流し」として慰労会を行い祇園まつりも終わりととなります。



酒々井麻賀多神社の祭り 昭和21年（大川熊雄氏提供）

ある時に聞いた話ですが、中宿の道路が八坂神社より不動尊（勝蔵院）の入り口付近まで二百メートルほどが真っ直ぐで昔はおまつりに利便を与えた「おまつり道路」だったとか。また露店が並んだ辺りの家が道路より後退して建てられており、その敷地に御輿の邪魔にならないように露店が並んだのも、まつりのために、地元の人々が協力した事が伺われます。

「秋まつり」

秋まつりは十月十四、十五日に行われ、各地区とも祇園まつりと同じように幟を立てます。また各家庭では甘酒を造り赤飯を炊いて神棚やお稲荷様に供えます。

「まつり」としては、下宿の麻賀多神社に格納されている山車の引き回しがありました。例年ではなく、何度か参加した事を覚えていません。笛・太鼓のお囃子にヒョットコの踊り、金数棒を持ったお姉さん先頭に長い綱を引く子供たち、昭和二十一年十月頃に撮ったおまつりの写真を見せてもらった事がありますが、皆さん、もう「古希」を過ぎた方々

の若衆時の思い出の写真になつてしまつたようです。

また十五日には、大佐倉の八幡様の御輿が酒々井まで担がれてきたことも二度ほど覚えています。大きな御輿を、担ぎ手は皆白装束で、「八幡ダイ・・・」。「八幡ダイ・・・」と掛け声勇ましく、昔は名主だつた中宿の「忠左工門」さん宅まで担いで来られ、ここで休み、接待を受けてまた元の道を引き返し帰つて行かれたことを覚えています。



野草観察会に

初めて参加して

石井康子

十月十日昨日まで停滞していた秋雨前線がやっと遠のいて、朝から一週間ぶりのすばらしい青空になりました。午前十時公民館を出発し墨地区の観察地へ向かいました。途中で亀井先生が合流され、いろいろご指導をいただきました。田んぼの畔道に入り、いよいよ観察会です。ハナ

タデ、コブナグサ、ヨメナギク・・・名前を聞いただけでも三十種類以上ありました。私は田舎育ちですのでも、ある程度は名前がわかると思いましたが見たこともない野草がたくさんありました。そしていよいよツリフネソウの群生地です。かわいいピンク色したベル型のお花が一面に咲いていました。「こんなきれいなお花が酒々井にあった」なんてびっくりしました。一時間半くらい観察をし、墨ふれあい館で昼食となりました。もう何年かぶりに作った自分のお弁当おいしく食べました。その後の勉強会は観察した際の復習でしたが名前がなかなか思い出せませんでした。中にはスケッチをされている方もいらして皆様なかなか熱心だなと思いました。今回自由時間が、少し増えて初めて参加したのですが、酒々井に生まれ育つても知らない場所がたくさんあります。もっと郷土を知りたいと思います。機会があれば参加したいと思いました。すばらしい天気にも恵まれ大自然の中を歩き、本当に楽しい一日でした。企画をされた方々ありがとうございました。

大原方面見学記

大野廣

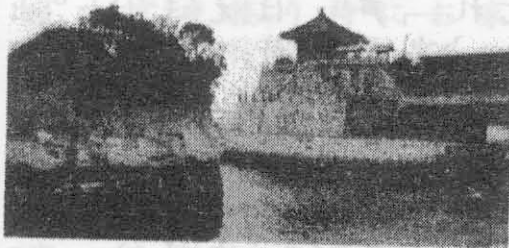
立冬も過ぎた十一月十二日(火)

南風が強い曇天だったが公民館前を予定を少し遅れて出発した。県道酒々井・成東道から四〇九号を經由して東金九十九里道へ入り波乗り道路を一路大原へ向かった。途中パラパラと雨はあったが南へ向かうにしたがつて明るくなってきた。最初に岩船地蔵尊を見学した。海に突き出た岩の上は風強くゆっくりと見るのが出来なかつた。私にとってこの付近は四十年位前に友達とよく釣りに来たところなので非常に懐かしく思った。次の小浜八幡神社見学の前に小休止と早めの昼食をした。昼食は新鮮な魚料理を堪能した。午後には近くの大原漁港でバスを降り三か所を徒歩で見学をした。最初は大原漁港の南側の海に少し突き出た小高い山の中腹にあり、神社を一周する遊歩道は障害物はなく太平洋の雄大な姿を一望出来る絶景な場所であった。毎年行われる「はだかまつり」は関東いや全国に知られた絢爛

豪華な勇壮なおまつりで十数基の御輿と提灯で町が埋まり五穀豊穡と大漁祈願の信仰の深さが伺われる。次に訪れた照願寺は貞應元年創建の古刹だそうで本堂その他は昭和五十一年に新築されていてその費用は壹億三千万円と記念碑に刻まれている。

今日の最後の見学は大聖寺（波切不動）で漁師町特有の細い路地を少し歩いた町外れの丘の岩場を切り開いた高台にあり、不動堂は茅葺きで室町時代の造営で国の重要文化財に指定されている。

今回の見学会では漁師たちの神社やお寺を守る信仰の厚さをつくづく感じた一日だった。



寿不動院辺りを
探訪して

E・T

会計報告	
大原方面收支決算報告	
H.14.11.12(火)	
収入	
会費	2,000円
参加人員	32名
2,000×32=64,000円	
64,000円	
支出	
食事代	51,975円
高速代	2,230円
諸雑費	8,955円
63,160円	
残金	840円

十二月四日は雨のため中止となり今日（六日）になりましたが、空はどんより、少し心配です。集合時間になると思ったより大勢の人が来て、和気あいあいと話が弾んでいました。上野から地下鉄で田原町へ、ここでちよつと雑談になります。田原町はタワラマチと呼び、その一駅前の稲荷町はイナリチョウと呼びます。日本の言葉は、同じ漢字「町」でも、そのつと呼び方が違います。特に隣

田原町付近は仏壇屋が多く、皆興味津々でした。寿不動院は浅草寺の裏門を守っているといわれ、本尊は二階にあり、お顔を見ようとして少し前の方に進むと、現代文明のセンサ

「が鳴り、びっくりします。この寺の回りには、いろいろな宗派の寺院が多数ありますが、皆本堂は鉄筋だったりマンションだったりで何か空しいです。浅草寺は正面より「雷」の字の書いてある提灯の門から、両脇には風神・雷神の神様が、その裏には天龍・金龍の男女が寺を守っています。仲店を覗きながら人ごみをかき分けかき分けて本尊にお参りし、午後は会長の説明で広い境内を散策し、浅草神社では女性の猿回しを見て、皆心を和ませました。いっぱいのお土産を手に薄暗くなった浅草を後に家路につききました。

七草粥を食べる会

参加へのお誘い

郷土研究会で毎年開催しております「七草粥を食べる会」を、今年は1月31日（金）に開きます。今年の献立は何にしようかと色々考え中です。会員の皆様の御参加・御協力いただけますよう、よろしくお願ひいたします。 野草部

見学

案内

名勝探訪

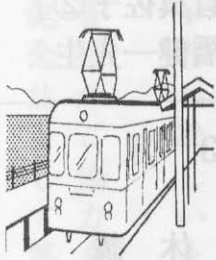
鎌倉・大町方面

一月十九日(日)

雨天代替二月二日(日)

初詣は今年も鎌倉です。鎌倉駅からバスで名越まで行き、そこから駅の方に戻って来ようと思えます。

日蓮ゆかりの寺々を回ります。安国論寺は「立正安国論」を唱えるためにこもった寺で、山を背にしています。遠くの眺めはすばらしいです。安養院は、前身は長樂寺といい、政子が頼朝の菩提を弔うために創建した寺で、政子のお墓があります。縁結びの寺として若い女性に人気があります。少し遅くなると思えますが駅辺りで解散し、その後自由昼食となります。



日帰り見学会

横浜方面

三月四日(火)
三月五日(水)
雨天代替三月五日(水)

桜木町駅で降りて関東第三番野毛山不動尊にお参りします。石川町駅に出て、中華街で自由に昼食の後、山手へ。この辺りは外国人居留地に指定されたところ、閑静で緑豊かな丘で異国的な雰囲気が漂っています。港の見える丘公園から外国人墓地を経て元町通りへ。この商店街は山手に住む外国人向けに日用品を販売したのが始まりで高品質

月日	内容	人数	月日	内容	人数
9/26	印刷	6	11/20	研修部会	12
9/29	発送	18	11/25	名勝下見	1
10/10	野草観察	26	11/29	運営委員会	22
10/11	日帰り受付	4	11/29	会報	6
10/15	古文書	12	12/6	名勝探訪	25
11/1	日帰り下見	3	12/10	会報	7
11/12	日帰り見学	32	12/17	古文書	12
11/19	古文書	11	12/17	会報	5

の元町ブランドとして知られていますが。ウインドショッピングをしながら約一キロに通り抜けると石川町駅、久しぶりに横浜へ出かけてみませんか。

あとがき


















世界平和や人権問題に疑問を持つような出来事が起こった一年が終わりしました。国内では奈良・今城塚古墳の側から見事な埴輪が大量に発見され、埴輪への疑問が投げ掛けられたようですが、当時の人々の平和への考え方は現代とどのように違っていたのでしょうか。

さて一月十九日に千葉市文化センターで平成十四年度千葉県遺跡調査研究の発表会がありますが、旧石器時代から奈良・平安時代までの当時の生活様式など郷土の歴史について興味深い説明があると思えます。関心のある方はお出かけになってはいかがでしょう。

今年も皆様と一緒に郷土の歴史を大切に、楽しんで行きたいと思えます。そして郷土研究会の行事に皆様の御参加をお待ちしております。

郷土研行事案内

平成15年1月～3月

<p>史談会</p>	<p>1月 休講</p>	<p>2月 1日(土) 13:30 会議室 「古今佐倉真佐子①」 講師：高橋健一先生</p>	<p>3月 1日(土) 13:30 会議室 「古今佐倉真佐子②」 講師：高橋健一先生</p>
<p>古文書を 読む会</p>	<p>1月 休講</p>	<p>2月 18日(火) 13:30 社会福祉協議会 会議室 「教訓心学図絵序」</p>	<p>3月 休講</p>
<p>名勝探訪</p>	<p>1月19日(日) 『鎌倉方面』 JR酒々井駅集合 7:00 雨天代替 2月2日(日) 費用 ホリデーパス 2040円 場合によりコース変更あり 行程 JR酒々井駅——鎌倉駅——安国論寺——妙法寺——安養院——鎌倉駅 (解散・自由昼食)</p>		
<p>野草の会</p>	<p>1月31日(金) 『七草粥を食べる会』 会場 中央公民館講堂 受付 11:00 会食 11:30 お手伝いして下さる方は 会費 700円 9:00頃 調理室に 定員 70名 おいで下さい。 申込受付 参加希望者は最寄りの運営委員にお申し込み下さい。 なお総会当日(1月26日)にも受け付けます。</p>		
<p>日帰り 見学会</p>	<p>3月4日(火) 『横浜方面』 JR酒々井駅8:00集合 雨天代替 3月5日(水) 交通費3370円 (場合によりコース変更あり) JR酒々井駅——JR桜木町駅——野毛山不動尊——桜木町駅——JR石川町駅——中華街(自由昼食)——港の見える丘公園——横浜外人墓地——元町通り(散歩)——JR石川町駅——JR酒々井駅 17:00頃解散</p>		
<p>第27回 総会</p>	<p>1月26日(日) 中央公民館講堂 開会13:30 受付 13:00から(公民館ロビー) 年会費 1000円 議題 ・平成14年度事業報告及び決算の承認について ・平成15年度事業計画案及び予算案について ・その他</p>		